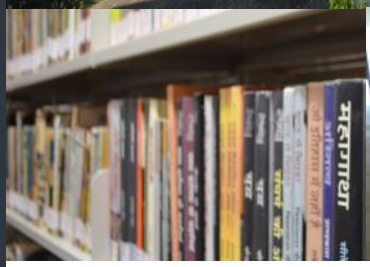
ISSN 0387-4400
54巻1号

大阪大学図書館報



巻頭特集

外国学図書館 新キャンパスへ

新型コロナウイルス 附属図書館の対応

連載　学ぶ人のための情報ページLS FORUM
全LS・33名に聞きました!
コロナ禍で研究生活どう変わった？

NEWS☆図書館からのお知らせ
「理工学図書館ネーミングライツ導入」他

粟生間谷から箕面新キャンパスへ

2021年5月1日、外国学図書館は、箕面キャンパスの移転に伴って、大学図書館と箕面市立図書館が一体化した新たな図書館に生まれ変わり船場地区に開館します。同時に、粟生間谷のキャンパスの外国学図書館はその歴史に幕を閉じます。

粟生間谷の外国学図書館の建物は、大阪外国語大学の上八学舎からの移転に合わせて建設され、大阪外国語大学附属図書館として1979年9月25日に開館しました。それは、当時としては最新の設備を擁する図書館と視聴覚教育施設が一体となった建物であり、図書館と語学教育研究施設を大学の機能的中心ととらえ、双方の有機的な発展を目指した新しい挑戦でした。以来41年余り、図書館は大学の学習・教育および研究活動と共に歩み、幅広い言語の資料収集に努めてきました。

この度、再び移転の時を迎え、約60万冊に達した蔵書は、すべてが新図書館に移管されます。そして箕面市立萱野南図書館の蔵書と共に、学生・教職員の教育研究と、箕面市民の生涯学習を同時に実現するべく、新たな図書館の取り組みが始まります。

扉絵：外国学図書館（箕面市粟生間谷東（あおまたにひがし））

フォトギャラリー

新築当時
（『大阪外国語大学要覧 １９７９』より）

1980年頃のカウンター
当時は2階にありました。

貴重図書室
2014年に総合図書館へと移管されました。

地図コーナー

「14冊の本棚」展示風景

外国学図書館のこれまで

- 1921 大阪外国語学校設立（上八学舎）
  当時より市民のための図書館開放を実施
- 1945 大阪大空襲により校舎焼失も約6万冊が配架される書庫の焼失はまぬがれた　*右カラム 鉄扉の記憶
- 1946 戦後一時移転した高槻学舎では旧兵舎の一室が図書館にあてられた
- 1949 国立学校設置法により大阪外国語大学を設置
- 1954 **上八図書館完成**
- 1962 国立大学初の語学実習装置（Language Laboratory）を導入
- 1970 石濱文庫の購入（現在は総合図書館に配架）

蔵書
約7500冊

蔵書
約8万冊

- 1979 **箕面市粟生間谷へ移転**
  図書館は充実した視聴覚教育施設と同棟に設置され、当時では珍しい電動集密書架、図書持出防止装置（ブック・ディテクション）が整備された

蔵書
約31万冊

- 1987～ 地図コーナーを開設
  大型コレクション、寄贈等による個人文庫の整備
  海外テレビ放送受信システムの整備
- 2007 大阪大学・大阪外国語大学の統合
  旧外大は阪大・箕面キャンパスへ、図書館も「箕面分館」に
- 2009 「外国学図書館」へ名称変更
  展示企画：14冊の本棚を開始
  専攻語（現地語）図書収集を開始
- 2012 ラーニング・コモンズ「るくす」完成
- 2015 AVライブラリーが総合研究棟から移設・AVコモンズ完成

蔵書
約60万冊

- 2021 箕面新キャンパスへ移転し新図書館へ

新図書館は2021年5月1日（土）に開館します！

移転後の新図書館は、生涯学習センター・劇場・図書館・駐車場が一体となった複合公共施設内に入居し、2021年5月1日（土）に開館します。管理運営は、箕面市から指定管理者の指定を受けて大阪大学が行います。

新図書館には、箕面市立萱野南図書館の蔵書と外国学図書館の蔵書すべてを移管します。

新図書館開館後も、大阪大学箕面新キャンパスにおける知の拠点として、引き続き大学図書館サービスを実施してまいります。今後の図書館活動にご期待いただくとともに、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

建設中の複合公共施設
（2021年1月撮影）

外国学図書館担当
副館長
（言語文化研究科教授）

藤元　優子

拝啓　外国学図書館さま

大阪外大に入学し、学部の終わり頃に箕面への移転を迎えた私は、それ以来ずっと現在の外国学図書館にお世話になってきました。狭すぎる上八学舎を知る者の目には、新図書館は眩しく映り、書庫の電動書架や最新機器満載の視聴覚施設にも目を見張りました。落ち着いた閲覧室や広い書庫が嬉しく、目当ての本の隣に思いがけず見つけた本を楽しむことのできる、ゆったりした空間が大好きになりました。小さな大学なので教職員はほぼ顔見知りでしたし、長閑な時代のこと、教員は2階メインカウンターで一声かければ横の入り口から書庫にも自由に出入りできる、ほぼアクセスフリーの状態で、その気軽さが図書館を身近なものにしていました。

2007年の阪大との統合で大きな組織に組み込まれ、管理体制も厳しくなって、外国学図書館のアットホーム感は残念ながら減退しました。箕面キャンパスの学生数が減る一方、インターネットの急激な普及・発達で読書や調べ物のあり方も様変わりし、図書館はその果たすべき役割を模索しながら進むべき、難しい時代に入ってきています。

そんな最中、私たちは市立図書館との一体化という、日本初の試みに挑むことになりました。大学図書館としての機能を保持しながら、一般市民にも満足してもらえるサービスを提供するのは、誰の目から見ても容易なことではありません。ですが、両者がプラスの化学反応を起こし、より多くの人に外国学研究の楽しみと奥深さを知ってもらえる施設に育つ可能性を信じて、これからも新図書館を応援したいと思っています。

ありがとう外国学図書館
～きくみみくんへの手紙から～

外国学図書館にマスコット「きくみみくん」が誕生したのは大阪外国語大学時代の2005年。以来、利用者のみなさんからいただいた様々なご意見・ご質問・ご要望のお手紙に、きくみみくんが掲示板でお返事する、そのやり取りを通して温かい交流が紡がれてきました。

移転を控えたここ数年は、図書館での思い出や新図書館への期待を綴ったお手紙を多数いただきました。

●外国語の絵本や邦訳がたくさんあって外国語学習者にとって最高の図書館だと改めて思いました（外国のDVDコーナーも最高です！）移転しても、このすばらしい蔵書をこのままにしていてほしいです。

●この空気、この景色、このにおい、ここはわたしにとっていちばん心穏やかになれる場所かもしれません。（中略）今この手紙を書きながらもいろんなことを思い出し涙が出そうです…場所が変わってもよろしくね、きくみみくん！

●この建物に入れるのもあと少しと思うととてもさみしいです。移転後も、このゆったりとした雰囲気の外国学図書館でありつづけてほしいです。

お手紙をくださったみなさま、
これまで図書館を利用してくださった
みなさま、どうもありがとう。
今の図書館の蔵書と学習環境の充実は、
みなさまのご協力によるものです。
新図書館には、きくみみくんも蔵書の
みんなと一緒に引っ越しします。
粟生間谷での思い出を胸に抱きつつも、
5月からの新生活と新たな出会いが
楽しみでもあります。
これからもよろしくお願いしますね。

附属図書館Twitterアカウントでは、外国学図書館の引っ越しの様子をツイートしています。
Twitter: @OsakaUnivLib　#外国学図書館移転

鉄扉の記憶

1945年3月13日夜から未明にかけての大阪大空襲で上八校舎は校舎全館を全焼しましたが、当時法律学の教授であった白井正教授によって図書館の書庫は延焼をまぬがれ、当時の所蔵資料約6万冊ほどは現在も旧分類図書として引き継がれています。

「書物こそ学生の生命である。これだけはなんとしても守らねば、と考えた。」と熱風と炎で顔や手に火傷を負いながら、書庫内の鉄扉を閉め、資料を守られたとのことです。

焼け残った書庫入口の鉄扉は、粟生間谷にキャンパスを移転した1979年当時の伊地智学長が、戦争を偲ぶ資料として移設を決め、図書館で保管をしていましたが、2021年のキャンパス移転を機に、外国学研究講義棟に展示されることとなりました。

参考
片岸嘉造「母校空襲炎上の事」『咲耶』（1983）2号
白井正「炎と熱風ー上八校舎の戦災」『咲耶』（1986）7号
白井正「想い出・その2」『扉』（1964）13号
「母校炎上」『大阪外国語大学70年史』（1992）p83-84.

新型コロナウイルス：附属図書館の対応

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大。学生生活・講義・研究・大学の業務すべてが大きな影響を受け、また現在も継続しています。国の緊急事態宣言や大学の通知等とともに、附属図書館の対応を時系列でまとめ、報告いたします。

図書宅配貸出サービス（合計）★1	無償アクセス可能な電子資料 ★2	令和2年度に整備した電子ブック
3,386冊（1,031件）	77のサービス ※2021年1月現在累計。版元が無償提供したもののうち、大学単位で利用申請を行ったもの	726タイトル・約700万円 ※2021年1月現在

大阪大学および附属図書館の対応（時系列）

2020/1/28	安全衛生管理部から、新型コロナウイルスへの対応について通知（第1報）
3/6～	図書館サービス一部変更 ・卒業生、学外利用者へのサービス休止 ・施設利用停止：ラーニング・コモンズ、グループ学習室／研究室、研究個室／個席 ・利用方法の制限：グループ学習の禁止、手洗い推奨など
4/7	大阪府含む7都府県に緊急事態宣言 「大阪大学の活動基準と緊急事態宣言について」通知 ・講義・授業：メディア授業のみ ・事務職：最小限の人員のみ出勤 ・学生の入校：原則登校禁止
4/8～	17時～　図書館臨時閉館 ・貸出中資料の返却期限を5/14まで延長 ・Webサイトに無償アクセス可能な電子資料ページを公開（随時更新）★2 ・貸出中資料の予約の停止 ・学内／学外図書館からの資料・複写物取寄せの停止 ※生命科学図書館：学内医療従事者向けの文献取寄せ、他大学図書館・病院への文献送付サービス継続
4/10	授業に必要な資料貸出開始（教職員向け、事前予約制）
4/16	緊急事態宣言　全国に拡大
4/23	総長通知「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組の徹底について」
5/8	図書の宅配貸出サービス受付開始（5/29まで）★1 ・大学院生・学部４年生（学位論文・卒業論文執筆に必要な資料）：合計938件（3,058冊） ・教職員（授業に必要な資料）：合計93件（328冊）
5/19	「大阪府の緊急事態措置に基づく大阪大学の今後の対応について」通知
5/21	大阪府　緊急事態宣言区域から解除
5/25	貸出中資料の返却期限を6/24まで再延長
5/26	Webサービス再開 ・貸出中資料への予約 ・学内／学外図書館からの資料・複写物取寄せ
5/28	一部開館（平日のみ、開館時間短縮） ※以後、開館時間は感染拡大状況を見て適宜変更 ※卒業生・学外者向けサービスは停止 ・入館（30分未満） ・資料の貸出、取寄せ資料の受取り ・セルフコピー機での複写 ・図書館利用者票の申請・受取り
6/11	開館サービス拡大 ・館内座席（1名利用、2時間目安） ・デスクトップパソコン・プリンター ・参考調査・貴重図書利用　等
6/18	ラーニング・サポートデスク　再開
9/3	学外者の貴重図書利用　再開
10/1	「卒業生特別」区分　利用再開
11/1	大阪大学SEEDSプログラム受講生　利用再開
2021/1/8	東京都など1都3県に緊急事態宣言
1/13	総長通知「緊急事態宣言発令下における大阪大学の対応について」
1/14	大阪府含む7府県に緊急事態宣言 図書館開館時間　一部短縮
1/23～	期末試験期間に土日祝開館 ※2020/5/28の再開館以降、初めて土日祝に開館

【ピックアップ1】文献検索や文献入手について学べるe-learning教材の公開

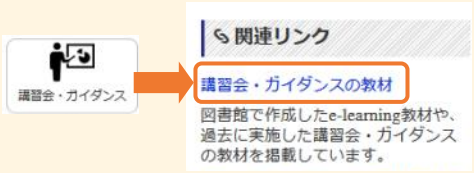
附属図書館では文献検索や入手に関する集合型の講習会をこれまで開催してきましたが、新型コロナウイルスの影響により、集合型の講習会を開催することが難しくなりました。

そのため、いつでもどこでも視聴できるe-learning教材での提供を開始いたしました。学習・研究にぜひお役立てください。

ご利用方法

以下のURLからご利用いただけるほか、附属図書館Webサイトトップページの「講習会・ガイダンス」アイコンからもご利用いただけます。

https://www.library.osaka-u.ac.jp/literacy/



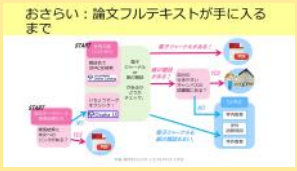
英語の教材もありますので、お近くの留学生さんにもぜひご紹介ください。

https://www.library.osaka-u.ac.jp/en/literacy_eng/

教材ラインナップの一例はこちらです。

学部4回生・大学院生のためのフルテキスト入手法

論文フルテキストを入手する効率的な方法を紹介します。大阪大学における操作方法をご案内しますので、新しく阪大にいらした研究者の方にも参考にしていただける内容です。

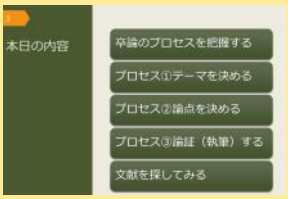


工学系の論文の探し方入門
初級編：読みたい論文が決まっているとき

論文とは何か？なぜ読む必要があるのか？という基礎的な解説と、Discovery Service（まとめて検索）とGoogle Scholarを使って論文を入手する方法をご紹介します。

外国語学部 論文検索ガイダンス資料（授業・自習用）

外国語学部の３、４年生向けに、文献の探し方を解説した「論文検索ガイダンス」の資料を掲載しています。授業や自主学習にご活用ください。



【ピックアップ2】オンラインでの学習相談の実施

附属図書館4館では館内のラーニング・サポートデスクにて、大学院生のラーニング・サポーター（LS）による学習相談を以前より実施しています。

キャンパスへ来ることが難しい、または来る機会が少なくなった学生の皆さんをサポートするため、オンラインでの学習相談も開始しました。

ご自宅からもぜひご相談ください。

以下のURLにて接続方法をご案内しています。

附属図書館Webサイトの「学習サポート」アイコンからも案内ページへアクセスできます。

https://www.library.osaka-u.ac.jp/ta/

授業内容や課題で分からないことや、レポートの書き方・内容についての相談などお気軽にどうぞ！

【開催報告】令和2年度大阪大学職員研修「コロナ禍を踏まえた大学図書館、研究者とオープンサイエンスの必要性」

2021年2月15日（月）、令和2年度大阪大学職員研修「コロナ禍を踏まえた大学図書館、研究者とオープンサイエンスの必要性」を開催いたしました。新型コロナウイルスの影響から、Webex Eventsを使用したオンライン開催となり、図書館職員を中心に学内外から102名の参加がありました。

1つ目の講演では大阪大学齊藤教授とNISTEP齋藤氏より、新型コロナウイルス流行による大学への影響、若手研究者が研究活動に受けた影響について、約1,100名へのアンケート調査の分析結果を中心にご講演いただきました。

2つ目の講演では北海道大学附属図書館山形氏より、新型コロナウイルス流行前後のオープンアクセス、オープンサイエンスの動向、新たな図書館の役割について、参加者が考える契機となるご講演をいただきました。

3つ目の講演では東北大学附属図書館小陳氏より、コロナ禍の国立大学図書館の概況、東北大学における状況とウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組みなど、2月13日発生の地震の影響も盛り込んでご講演いただきました。

質疑応答の時間には「研究者への継続調査の予定は？」「これからの図書館職員に必要な資質をどう考えるか？」といった質問がありました。また終了後のアンケートでは「研究者、図書館現場の係員、管理職と多様な講演内容で非常に良かった」「大学図書館の役割の根幹について考える機会となった」などの感想があり、コロナ禍と大学および図書館、オープンサイエンスについて考えるきっかけとなりました。

LS講習会・展示
（2020.2～2021.1）

総合図書館

講習会
●対面式
・大学院留学のためのGRE
●対面式・オンライン（Zoom）両方
・LSの外国語会話サプリ（中国語）
・としょかん秋冬のスタディ・スキルセミナー
●オンライン（Zoom）形式
・初心者のためのLaTeX講座
・日本語でニュースを語ろう！
・IELTS対策の第一歩
・実験レポートの書き方
・GRE対策の第一歩
・日本語会話上級編～ニュースや身近な出来事を深く語ろう～
・「今すぐ」LaTeXを使ってみよう～オンラインエディタOverleaf紹介～
展示
・LS選書2020

としょかん秋冬の
スタディ・スキルセミナー

生命科学図書館

講習会
●対面式
・あなたはどこまでやりますか？～ヒト受精卵へのゲノム編集を考える～
・文献管理のセミナー（Mendeley）
・ためしてナンボ！質的研究miniワークショップ
展示
・LSのおすすめ本’20

文献管理のセミナー（Mendeley）

4図書館のラーニング・サポーター（LS）による、学ぶ人のための情報ページ

LS FORUM

Q1　研究生活で最も変わったことは？

コミュニケーションの取り方

・学会やゼミもオンラインでの開催が中心となり、先生や先輩の研究者と直接お話しできる機会が減りました。（外国学 / 言文・D2・青山）

・オンラインでの授業や研究指導が増え、「なんか違う」と思うことがあり、対面でしか伝えられないことがあることに気づきました。（外国学 / 言文・D2・汪）

・Zoom等のコミュニケーションツールを使って議論をすることが増えました。リアルタイムで数式を共有して議論するために、ホワイトボードのアプリを使っています。（総合 / 理・M1・村）

・ビデオ通話サービスのおかげで、国内だけでなく海外の研究者とも交流でき、国際共同研究につながりました。（総合 / 理・M1・渡辺）

研究の進め方

・修士論文の執筆にあたってインタビューを実施しようと思っていたので不安でしたが、遠くに住んでいる方にもオンラインでスムーズにインタビューができました。（総合 / 国公 ・M2・海東）

・公務員試験が延期され、研究との両立の見通しが立てられず困難に感じました。（生命科学 / 人・M2・酒井）

・インタビューでデータ収集を行っていますが、協力者の募集や対面インタビューが難しくなり、一つ大きな課題となっています。（総合 / 言文・M2・張）

・夏休み期間に予定していた現地調査に行くことができず、別の方法を模索することになりました。（外国学 / 言文・M2・朴）

・研究内容が実験メインなので、自粛期間中はほとんど研究ができませんでした。しかし、研究結果の提出締め切りは例年通りであったため、実験に失敗したときの焦りや不安は以前より強く感じるようになりました。（総合 / 基・M1・山本）

時間の使い方

・移動時間が減り、研究に費やす時間は増えましたが、移動時間を読書にあてていたので、別途つくることになりました。（外国学 / 言文・D1・大津）

・授業、ゼミ、学会などがオンラインで開催されたことを不便に思う一方、通学や移動が不要になり、浮いた時間は研究や勉強にも使えるし、休みにも使えます。どのように浮いた時間を上手に使うかも新たなチャレンジになっています。（生命科学 / 医・D1・LI）

・緊急事態宣言の期間中はアルバイトなどもなくなり、ほとんど24時間全てを研究に使えるようになりました。とはいえ、先の見えないストレスなどもあり、生産性のある時間を過ごせたとは言い難いです。（外国学 / 言文・M2・中村）

編集担当より　対面式だけではなく、オンライン（Zoom）での相談も開始しました。学習面で困ったことがあれば、ぜひラーニング・サポートデスクにご相談ください。

全LS・33名に聞きました！

コロナ禍で研究生活どう変わった？

附属図書館4館の全LS・33名にアンケートを行い、新型コロナウイルスの流行で、研究生活にどのような影響や変化があったのかを教えてもらいました。

Q2　研究生活で変わらなかったことは？

・博論関係の書類等の提出物の期日はあまり変わりませんでした。
（総合 / 理・D3・林）

・自分で仮説を立てて、先生や先輩と相談しながら検証を繰り返すという、基本的な研究の進め方は変わりませんでした。（理工学 / 工・M2・上野）

・研究を進める場所が研究室から自宅に変わったくらいで、研究の進め方については変わりませんでした。（理工学 / 工・M2・大前）

Q3　阪大生におすすめする新しい学び方を教えてください！

・教科書や授業で出てきた専門用語、興味を持った内容をYouTube等の動画サイトで検索します。内容を絞っている分、わかりやすいものが多いです。
（理工学 / 情報・D2・宮本）

・Coursera（https://ja.coursera.org/）というサイトでYaleなどの大学の授業を受けられ、無料のコンテンツもあります。（総合 / 国公・D1・阿部）

その他、「自宅からでもアクセスできるデータベースを活用する」、「オンラインで開催される学会や講習会に参加する」、「専攻とは異なる分野の勉強をする」といった回答がありました。

Q4　研究・勉強に行き詰ったときのリフレッシュ方法は？

・進捗を実感するために1日で何をしたのか、メモしていくこと。適宜機械的作業を挟むと行き詰まった時でも進捗があります。（外国学 / 言文・D2・木下）

・好きな動画を観たり、音楽を聴いたりします。（総合 / 文・D1・沙）

・1時間くらい散歩に行きます。体を動かすと、椅子に座っていた時には思いもよらなかったアイデアが出ることもあります。（総合 / 文・D1・武久）

・興味がある他の分野の本を読むこと。（外国学 / 言文・D1・楊）

・運動をします。コロナの影響もあり、最近は一人でできるランニングや筋トレをしています。（理工学 / 工・M2・井上）

・同期とテレビ電話でお互いの研究を聞くこと。頭の整理をすると同時に、別の視点からのアドバイスももらえます。（総合 / 経・M2・劉）

その他、「料理をする」、「甘いものを食べる」、「美術館・博物館に行く」、「旅行に行く」、「仮眠をとる」、「趣味に時間を費やす」といった回答がありました。

お知らせ　LSのWebページは、附属図書館TOP＞学習サポート
https://www.library.osaka-u.ac.jp/ta/

LS講習会・展示（2020.2～2021.1）

理工学図書館

講習会
●対面式・オンライン（Zoom）両方
・理系博士課程の日常
・TOEICのAランク860点を目指そう！
・交換留学への道
～申請から派遣まで～
・科学英語論文の読み方入門
・理系の英語プレゼンテーション講座
・修士課程進学時に必要な3つの心構え
・日本語の作文技術

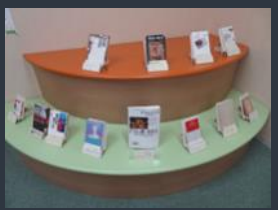
展示
・理工学図書館LSが選ぶ「学部生におすすめの本」

交換留学への道～申請から派遣まで～

外国学図書館

講習会
●紙上形式
・教職を志す者必見！現役高校教員LSのおススメ名作映画集
・2020年のアメリカと映画館
・チェンマイでは、ゆっくり、あるくこと。
・イラン留学体験記
・カーロイ・ミハーイの生涯を通じてハンガリーの歴史を学ぶ
・2010年代中国における日本映画の上映について
●オンライン（Zoom）
・留学パネルトーク@Zoom
・外国語学部生のためのレポート執筆入門
・レポート・論文のための引用の技術
・外国語学部生のための資料検索入門
●対面式・オンライン（Zoom）両方
・卒論Second Opinion ー卒論の相談は、1に教員、2にるくすー
・レポートのさぽーと

展示
・LS Recommended Books ～春休みにじっくり読む本～



NEWS☆図書館からのお知らせ（2020.2～2021.1）

生命科学図書館の館内改修工事を行いました

2020年5月～12月、大阪大学アーカイブズ※移転に伴い、生命科学図書館1階および4階の改修工事を行いました。工事期間中は、騒音等により大変ご迷惑をおかけしました。ラーニング・コモンズは1階入館ゲート横に、4階端末コーナーは4階個室横に移設しました。

※ 大阪大学アーカイブズは、大阪大学の法人文書や広報誌などの学内刊行物のほか、大阪大学（前身校を含む）に関する様々な資料を収集・整理・保存・公開している学内組織です。2021年1月、箕面キャンパスから生命科学図書館4階に移転しました。ご利用方法など詳細は、大阪大学アーカイブズのWebサイトをご確認ください。

▲ 4階端末コーナー（生命図）

理工学図書館へネーミングライツを導入しました

2021年1月25日、大阪大学とタワーパートナーズセミコンダクター株式会社（TPSCo）は、理工学図書館へのネーミングライツ導入に関する協定を締結しました。大阪大学が2018年8月に教育研究環境の向上や施設等の有効活用を目的にネーミングライツ制度を導入して以来、学内では3件目、附属図書館では初めてとなります。

対象施設は理工学図書館西館1階のラーニング・コモンズとラウンジで、2021年2月から2024年1月まで、同施設の愛称は、

・「TPSCo Commons（ティ・ピィ・エス・コ コモンズ）」
・「TPSCo Lounge（ティ・ピィ・エス・コ ラウンジ）」

となります。ぜひご利用ください。

▲ TPSCo Commons（理工学図）

▲ TPSCo Lounge（理工学図）

図書展示の記録

◆理工学図書館
・いろいろな“生きる”集めました（6～7月）
・雑学～興味の幅を広げる16冊～（10～11月）
・鍛える（12～1月）
・今のうちに知っておきたい!知的財産権について（1～2月）

◆生命科学図書館
・感染症を知る（1月）

講習会・セミナーの記録

図書館では様々な講習会等を企画しています。開催情報は随時、かわらばん・Webサイト等にてお知らせします。

◆データベース利用講習会
9/14 Reaxys講習会［オンライン］
9/15 SciFinder講習会［オンライン］
9/16 Scopus講習会［オンライン］
9/29 Web of Science講習会［オンライン］
12/1 Scopus講習会（英語）［オンライン］
12/8 Web of Science講習会（英語）［オンライン］
※EndNote Basicと同時開催

◆文献管理ツール利用講習会
9/17 Mendeley講習会［オンライン］
10/1 EndNote Basic講習会［オンライン］
12/2 Mendeley講習会（英語）［オンライン］
12/8 EndNote Basic講習会（英語）［オンライン］
※Web of Scienceと同時開催

Vol.54 No.1 通巻197号
2021年3月31日 発行
編集：大阪大学附属図書館
広報・イベント計画ワーキンググループ
住所：大阪府豊中市待兼山町1-4
Web：https://www.library.osaka-u.ac.jp/
E-mail：kohowg@library.osaka-u.ac.jp
Twitter：@OsakaUnivLib